

地域との連携事業について

渡辺 優

改正博物館法と地域連携

令和5年4月に施行された改正博物館法(以下「改正法」)により、博物館は地域の多様な主体との連携・協力を通じて、文化観光など地域の活力向上に寄与することが努力義務として定められました。

県内有数の観光地である秩父地域に位置する当館は、改正法施行前から、長瀬町観光協会との連携事業やジオパーク秩父の構成団体としての活動を通じて、地域の自然の価値や魅力を発信し地域を活性化する活動を行ってきました。地域の観光入込客数と当館来館者数は相関関係にあり、地域・観光との連携は時代の要請というより、相互発展のための必然的な流れであったと言えます。

当館の新たな地域連携事業

地域に開かれた博物館を目指して、今年度実施した地域連携事業のうち、2つの事業を紹介します。

(1) 深谷 KidsFesta

深谷市(深谷テラスパークマネジメント)からの協力依頼を受け、10月12日(日)に深谷テラスパークで開催された当イベントに、「カルカロドメガロドン」等の紹介展示やワークショップ(化石のレプリカづくり体験)を行うブースを出展しました。

深谷市は当館のシンボリック的存在である「カルカロドメガロドン」の歯群化石(埼玉県指定天然記念物)が産出した地であり、同市にとっては地元の魅力を広くPRする機会となりました。当館にとっても、当館の活動を知っていただく有意義な場となりました。

子ども向けのイベントだったため、手軽に作れて作った物を持ち帰れるワークショップは好評で、97人の方に参加いただきました(ブース全体の参加者は222人)。



深谷 KidsFestaの様子

(2) 県民の日イベント「自然の博物館秋まつり」

当館では例年、県条例により入館料無料となる「埼玉県民の日」に合わせてスペシャルイベントを開催しています。従来は当館と「自然の博物館友会の会」との共催で実施していましたが、昨年度は地域の有志による地元活性化委員会にも出展いただき、地域全体のイベントへと発展しました。今年度は長瀬町や長瀬町教育委員会にも参加いただくなど、さらに地域との一体感が感じられるイベントとなりました。

長瀬町産業観光課による『木育広場-木にふれて・遊んで・学んでみよう!-』や、上長瀬駅とその周辺活性化委員会による『竹のワークショップ-竹漕工房-』などの地域の魅力を体験できるブース、旧新井家住宅と当館を巡ることで「月の石もみじ公園の紅葉ライトアップ」も楽しめる『長瀬町周遊スタンプラリー』(当館・長瀬町教育委員会・長瀬町産業観光課の共催)などを実施しました。さらに、上長瀬駅とその周辺活性化委員会にキッチンカー(「桜東風」、「茶夢」の2店)を手配していただき、お祭りの雰囲気が一層高まりました。

当日は長瀬町公式マスコットキャラクター「とろにゃん」も来場し、大盛況となりました。1,475人の方にご参加いただき、多彩なイベントと長瀬観光をお楽しみいただけたと考えています。

おわりに

連携事業を行うに当たり実感したことは、当館は周囲から敷居が高いと思われていたということです。今後も、より一層、地域に開かれた博物館として、県北・秩父地域を中心に相互発展を目指し、連携を深化させていきます。

(わたなべ まさる・担当課長)



県民の日イベントの様子

